

視覚障害のある学生の受講を想定した遠隔授業の対応について

【趣旨】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、前期授業は遠隔（オンライン）によって行うことが基本となりました。遠隔授業において、視覚障害のある学生にとっては特に配慮を要する点があります。

下記において、遠隔授業等において障害等に起因して生じやすい課題と対処法の案を提示することで、授業担当教員等が障害の有無にかかわらず適切に対応できることを目的とします。

視覚障害のある学生が受講する授業では、授業担当教員に渡される配慮依頼文書と合わせて、下記の内容に基づき、合理的配慮の提供を行っていただければ幸いです。

【見ることの困難を有する学生（視覚障害）】

<遠隔授業で生じやすい課題>

パワーポイント等の視覚資料を使用される授業の場合、視覚資料から情報を取得することが難しくなります。また、授業資料をPDF等のデータで提供される場合は視覚障害等のある学生が使用するスクリーンリーダー（文字を音声読み上げるソフト）が使用できないため、ワードもしくはテキストにてご提供をお願いします。その他、動画による遠隔授業の場合、全盲学生については配信された授業の音声と同時に、ワードやパワーポイントなどで提供された教材も音声読み上げ機能を用いる必要があるため、音声が多重になり負担が生じる場合もあります。

<授業担当教員等の対応>

○オンデマンド配信・リアルタイム配信共通

- ① 全盲学生が受講する場合には、「主たる情報」を動画や配信内容あるいは提供された電子ファイル（パワーポイントやテキストファイルなど）のどちらかに極力集約して、どちらから情報取得するべきかお伝えください。

- ② 遠隔授業で使用するパワーポイント等の視覚資料は、内容を読み上げるなど音声による説明を加えてください。また、その際には「この」などの指示語の使用は極力避けてください。
- ③ 点字を用いる学生が受講する授業でパワーポイントを使用する場合は、事前にパワーポイント（.pptx）等の元データによる電子データ^{※1}をご提供ください。図表や画像を用いる場合には「代替テキスト^{※2}」に簡単な図表の説明を追加してください。
- ④ 授業で使用する教科書・参考書・文献が確定している場合は、可能な限り早めに、対象学生にお伝えください^{※3}。

※1 PDF ファイルは音声で読み取りが困難です。学生本人が限定的に使用いたしますので元データのワードもしくはテキストでのご提供をお願いします。

※2 「代替テキスト」とは図表や画像の説明文を挿入する機能です。事前に挿入しておく音声読み上げソフトに対応して図表や画像の説明をします（例：「この写真は実験の様子です」など）。Microsoft Office では標準機能で使用できます。

【代替テキストの入力方法について】

- ①図に対して、右クリックすると、そのタブの中に「代替テキストの編集」がありますので、クリックいただき、図や写真などの説明を入力ください。
- ②右クリックでタブの中に「代替テキスト」がない場合は、図に対して右クリックをし、タブの中の「図式の書式設定」を選び、その中の「レイアウトとプロパティ」を開くと代替テキスト編集の所につながります。

※3 視覚障害のある学生において、指定された教科書や参考書・文献の内容を確認するため、点字データの検索や音声読み上げソフトに対応したテキストデータ化する必要があり、時間がかかることがあります。

【引用資料】

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（アクセシビリティ），
「障害のある学生の受講を想定した遠隔授業の対応について」

<https://dac.tsukuba.ac.jp/shien/20200409-1/>（参照：2020-4-20）

Association on Higher Education And Disability（2018） Five ways simple ways to increase accessibility in distance education courses.

<https://www.ahead.org/about-ahead/about-overview/special-interest-groups/online-and-distance-learning>

DO-IT(2020)Resources for making distance learning accessible.

<https://www.washington.edu/doit/programs/accessdl/resources-making-distance-learning-accessible>